

様式第七十六 (第百三十九条関係)

店舗販売業許可申請書

| | | | |
|--|---|---|------------------------|
| 店舗の名称 | 〇〇ドラッグ××店 | | |
| 店舗の所在地 | 〇〒×××-×〇×〇 小樽市××〇〇丁目△番〇号 〇〇ビル〇〇階 TEL〇〇〇×-××-×〇×〇 FAX 〇〇〇×-××-×〇〇〇〇 | | |
| 店舗の構造設備の概要 | 別紙のとおり | 添付書類ひな形「構造設備の概要」、「求積表」と平面図を添付 | |
| 医薬品の販売又は授与を行う体制の概要 | 別紙のとおり | 添付書類ひな形「店舗販売業の業務を行う体制の概要」を添付 | |
| (法人にあつては)薬事に関する業務に責任を有する役員の氏名 | 代表取締役 〇〇×× 取締役 〇〇×× | 書ききれない場合は、添付書類ひな形「組織図(例)」を参考に作成し添付 | |
| 通常の営業日及び営業時間 | 別紙のとおり | 添付書類ひな形「通常の営業日及び営業時間」を添付 | |
| 相談時及び緊急時の連絡先 | 〇〇〇×-××-×〇×〇 | | |
| 特定販売の実施の有無 | 有 ・ 無 | | |
| 申請に責任を有する者(法人にあつては、役員を含む。薬事に関する資格条項業務) | (1) | 法第75条第1項の規定により許可を取り消され、取消しの日から3年を経過していない者 | 全員なし |
| | (2) | 法第75条の2第1項の規定により登録を取り消され、取消しの日から3年を経過していない者 | 全員なし |
| | (3) | 禁錮以上の刑に処せられ、その執行を終わり、又は執行を受けることがなくなった後、3年を経過していない者 | 全員なし |
| | (4) | 法、麻薬及び向精神薬取締法、その薬事に関する法令で政令で定められた違反行為があつた日から起算して3年を経過していない者 | 該当する事実がある場合はその内容を詳細に記載 |
| | (5) | 麻薬、大麻、あへん又は覚醒剤の中毒者 | 全員なし |
| | (6) | 精神の機能の障害により必要な認知、判断及び管理医療機器の取扱いについて該当するところに〇をつける | 全員なし |
| | (7) | 店舗販売業者の業務を適切に行うことができる知識及び経験を有すると認められない者 | 全員なし |
| 備考 | 〇 当該店舗において管理医療機器の販売業・貸与業を(併せ行う・行わない) (1) 取扱品目(補聴器、電気治療器、プログラム(管理)家庭用検体、管理) (2) 管理医療機器販売業・貸与業の管理者の氏名及び住所 ア 店舗管理者に同じ イ 店舗管理者以外の者 氏名 〇〇××住所 小樽市××〇〇丁目△番〇号 資格 薬剤師 | | |

上記により、店舗販売業の許可を申請します。

令和〇年△月×日

住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地) 東京都××区〇〇-△-△

氏名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 株式会社〇〇ドラッグ

代表取締役 〇〇××

小樽市保健所長 様

連絡先: 電話

担当者